

金型を重要視する

## 韓国の大大学

2005(平成17)年6月、私はソウル産業大学校の名誉教授となつた。1982(昭和57)年に韓国で初めて工業大学に金型学科を設立した柳教授が当社を3度訪問され、3回目には早朝から夕刻まで、「イトウサンに教授をお願いしたい」と粘られた。当時も日韓関係が良いと言える状態でなかつたが、韓国の学会と産業界は違っていた。進んだ日本と交流することでした。韓国の発展はないと考え、70年代からの日を見張る日本経済の発展の原動力が金型にあることを見抜いていた。それでアジア諸国では最も早くに大学に金型学科ができたのだ。

当時、私が日本金型工業会の副会長

伊藤製作所社長

伊藤 澄夫 48



ソウル産業大学校(現国立ソウル科学技術大学校)での調印式(左が私)

## 名誉教授を辞退した理由

の依頼で講演も定期的に実施した。またサムソンやLGなど有名な大手製造業の見学を毎年受け入れていた。

そんな中で事件が起つた。2011(平成23)年12月、よりによつてソウルの日本大使館の前に慰安婦像が設置された。これは明らかに国際法にも違反している。私の周辺の韓国人の中にも、「一部の団体がすることだ」と言つて済まそぐとする人も多い。そうだとすれば、政府やマスコミがこれを

理由だろう。韓国の国立大学は予算が厳しいので、「イトウサンがソウルに出席する日程が決まれば、それに合わせて授業を年2、3回お願いしたい。

申し訳ないが航空費を支払いする予算はない」と言われ、講義料は一回30万円に決まった。毎年、7月の夏季休暇に学生のインターシップの2週間受け入れにも調印した。韓国労組から

止めないことに問題がある。この行為が日本国民はもちろん、周辺諸国にも鬱憤(ひんしゆく)を賣うと思われていることすら分からぬのだ。

1週間後、大学や労組、教育機関にメールを送った。「大使館の慰安婦像が撤去されるまで、私は一切の活動を中止する」と表明すると、ソウルで大騒ぎとなつた。「あのイトウサンまで怒らせてしまつた。李大統領が陛下に謝罪しろと言つた」ともますますかつたのかな」と話題になつたらしく。正しいことならばつきり反論するべきだ。このことで知り合いの多くの韓国人で私を怨む者は1人もいなかつた。その後、米国と韓国、世界中に100体以上慰安婦像が設置された。政府は昨年、朴大統領と慰安婦合意した

マイ  
my way  
ウェイ